

チャペル週報

No.14

2019.9.17 ~ 9.27

人よ、何が善であり
主が何をお前に求めておられるかは
お前に告げられている。
正義を行い、慈しみを愛し
へりくだって神と共に歩むこと、これである。
(ミカ書 6章8節)



時計台 (大学博物館)・エンブレム

関西学院宗教センター

☆ チャペル・スケジュール ☆

時間 10:35～11:05 場所 各学部チャペル

9月17日(火) 西北 山本 俊正 (宗教総主事)

9月20日(金) 院 秋学期を迎えて 橋本 祐樹 (神学部助教)
神 中道 基夫 (神学部長)
文 Andreas Rusterholz (宗教主事)
経 経済学と聖書⑩ 井口 泰 (経済学部教授)
人 秋学期を迎えて 嶺重 淑 (宗教主事)
理 前川 裕 (宗教主事)

9月23日(月) 神 夏期派遣実習報告 鄭 詩温 (神学研究科M1)
経 創立130周年を迎えて① 井上 智 (宗教センター宗教主事)
人 創立記念日を覚えて① 嶺重 淑 (宗教主事)
理 前川 裕 (宗教主事)
聖和 聖書物語「天国の門、開かれる」

9月24日(火) 神 愛① 橋本 祐樹 (神学部助教)
文 Andreas Rusterholz (宗教主事)
社 秋学期を迎えて 打樋 啓史 (宗教主事)
法 大宮 有博 (宗教主事)
経 創立130周年を迎えて② 舟木 譲 (宗教主事)
商 山本 俊正 (宗教主事)
国 創立記念日をおぼえて 木本 圭一 (国際学部教授・副学部長)
理 前川 裕 (宗教主事)
総 村瀬 義史 (宗教主事)
教 秋学期をむかえて 眞城 知己 (教育学部副学部長)

9月25日(水) 神 夏期派遣実習報告 小林 希恵 (神学研究科M1)
社 献血実行委員会
法 田淵 結 (前院長)
商 山本 俊正 (宗教主事)
人 創立記念日を覚えて② 嶺重 淑 (宗教主事)
国 新学期をむかえて 平林 孝裕 (国際学部長)
理 前川 裕 (宗教主事)
総 村瀬 義史 (宗教主事)
教 関西学院の創立を記念して 梶原 直美 (宗教主事)

9月26日(木) 神 石森 圭一 (高等部教諭)
文 献血実行委員会によるチャペル
社 創立記念日(9/28)チャペル Timothy O. Benedict (宣教師)
法 舟木 譲 (院長)
経 創立130周年を迎えて③ 井上 智 (宗教センター宗教主事)
商 献血実行委員会
総 村瀬 義史 (宗教主事)
聖和 関西学院創立記念礼拝 田淵 結 (前 関西学院院長)

9月27日(金) 院 井上 智 (宗教センター宗教主事)
神 臨床牧会実習報告 掛江 隆史 (神学研究科M2)
文 Chapel in English Andreas Rusterholz (宗教主事)
経 経済学と聖書⑪ 井口 泰 (経済学部教授)
人 創立記念日を覚えて③ 嶺重 淑 (宗教主事)
理 関学創立記念チャペル 前川 裕 (宗教主事)

◇ランパス早天祈祷会 毎週金曜日 8:20～8:40

ランパス記念礼拝堂 (西宮上ヶ原)

9月20日(金) 教育学部のために

今津屋 直子 (教育学部長)

9月27日(金) 創立記念日(9/28)を覚えて

村瀬 義史 (院長補佐)

創立130年の歩みー

先達の「勇気」と「ビジョン」と「祈り」に支えられて

山本 俊正

関西学院が創立された1889年は、近代日本の進路を決定する大きな分岐点となる年でした。明治政府は「大日本帝国憲法」を公布（1889年）し、翌年、「教育勅語」（1890年）を發布、天皇を頂点とする立憲君主制国家を確立しようとしていました。帝国憲法発布と前後して、国粹主義が台頭し、戦争への道が整えられました。学院創立10年後の1899年には、文部省より訓令第十二号と私立学校令が出されます。学校での宗教教育や礼拝（チャペル）が禁止され、私立学校は政府の厳しい監視下に置かれました。この訓令に従わないことは、生徒が「徴兵猶予」などの特典を失うことを意味していました。当時の吉岡院長は「聖書と礼拝なくして学院なし。特典便宜何ものぞ」と述べ、チャペルアワーを断固として継続し、「祈りの時」を絶やすことはありませんでした。この私立学校令は、施行から第二次世界大戦終了後の学制改革直前まで、日本の私立学校を統制しました。日本はその後、日清戦争（1894-1895）、日露戦争（1904-1905）を経て、柳条湖事件（1931）、盧溝橋事件（1937）を起点として、第二次世界大戦に突き進んで行きます。この間、関西学院は1929年に上ヶ原に移転し、1932年には念願の大学設立が認可されます。大学の学生数も増加し、教授陣が充実され、学術研究や運動部も盛んになりました。この順調な発展の基礎を支えたのは、キリスト教主義大学設立のビジョンを携え、大学昇格の可能性に尽力した、多くの宣教師、教職員・学生たちでした。当時、学院によって設置された「大学委員会」は、大学昇格に関する周到な事前調査を行っています。委員にはニュートン院長、アームストロング高等学部長、ヘーデン神学部長、その他、宣教師、教職員が任命されています。また、米国、カナダのメソジスト教会は、この動きに連動して、「連合大学委員会」を設置しました。両教会は「学院のキリスト教的な特色を永久に保証すること」を条件に学院の大学昇格運動方針を承認したのです。さらに、ニュートン院長の退任後、選出されたベーツ院長のリーダーシップによって、大学設置基準を満たす広さの敷地が確保され、上ヶ原移転が実現しました。しかし、軍国主義とファシズムが席捲し、欧米人への排斥が進む中、1940年にベーツ院長が突然、院長、学長職を自ら辞任し、同年、すべての外国人宣教師教授が帰国を余儀なくされました。戦後からの歩みと学院の現在があるのは、多くの先達の「勇気」と「ビジョン」と「祈り」に支えられていたのです。

（宗教総主事）

●大阪梅田キャンパスチャペル

阪急梅田駅から徒歩すぐ、アプロースタワー14階の大阪梅田キャンパスでは、大学院授業期間中の毎週木曜日にチャペルアワーを開催しています。

【どなたでもご自由にご参加ください。】(17:50～18:20 1405教室)

9月主題:「創立130年を迎えて」

9月26日(木)山本俊正(宗教総主事)

●関西学院会館ベーツチャペル日曜礼拝のご案内

授業期間中の第二・第四日曜日(原則)に、教職員と学生有志による礼拝が行われます。

どなたでも(クリスチャンでなくても)参加できますのでどうぞお越しください。

9月22日(日)10:00～11:00「学院創立記念礼拝」

関西学院会館ベーツチャペル

●第217回ランバス演奏会 リコーダー・アンサンブル「レアール」リサイタル

「レアール」は1997年に関西学院大学応援団総部吹奏楽部OB・OGを中心に結成されました。

ランバス演奏会への出演は22回を数えます。バロック音楽を中心に古楽からジャズに至るまで幅広いジャンルの音楽をレパートリーに活動しています。

と き: 9月26日(木)17:30開演

ところ: ランバス記念礼拝堂(西宮上ヶ原)

<入場無料>

●秋の献血週間(西宮上ヶ原キャンパス)のお知らせ

宗教総部では、秋の献血週間を実施します。提供していただく血液は、兵庫県赤十字血液センターでの検査を経て医療現場に届けられます。皆様のご協力をお願いします。

期 間: 9月30日(月)～10月4日(金)

受付場所: 吉岡記念館ラウンジ

主 催: 宗教総部献血実行委員会

●関西学院チャペルオルガニスト秋の発表会

各学部のチャペルで奏楽を担当するチャペルオルガニストはじめレッスン生たち51人が練習の成果を披露します。演奏曲はJ.S.バッハ、D.ブクステフーデ、F.メンデルスゾーンなどです。パイプオルガンに関心のある方、そしてランバス記念礼拝堂に入ったことのない方もどうぞお気軽にお越しください。演奏中以外は入退場自由です。(入場無料、申し込み不要)

と き: 10月5日(土)10:00～16:00(途中昼休憩有り)

ところ: ランバス記念礼拝堂(西宮上ヶ原)

指導者: 太宰まり、能島亜未、坂倉朗子、西山聡子

主 催: 宗教センター <入場無料>

◆CD・DVDライブラリー

吉岡記念館事務室宗教センターには、教会音楽、キリスト教に関するCDやDVDを備えています。本学学生及び教職員(学生証または身分証明書必要)であればどなたでも利用できますので、希望者は事務室までお越しください。

◆使用済み切手収集にご協力ください

本学では日本キリスト教海外医療協力会(JOCS)切手部の活動に協力し、使用済み切手の収集をしています。通常切手も対象としていますのでどうぞ吉岡記念館常設の回収箱にお届けください。

◆盲導犬育成のためご協力をお願いします

関西学院宗教活動委員会は、目の不自由な方々の社会参加促進を願い、社会福祉法人「日本ライトハウス」の募金活動に協力しています。吉岡記念館事務室はじめ各学部カウンターに募金箱を用意しておりますので皆様の温かいご協力をお願いいたします。